

音楽監督  
板倉康明

フルート  
斎藤和志  
齋藤光晴

オーボエ  
梅枝理恵  
辻 功  
渡辺康之

クラリネット  
川越あさみ  
佐藤和歌子  
西澤春代

ファゴット  
河府有紀  
長 哲也

サックス  
小串俊寿

ホルン  
有馬純晴  
岸上 稔  
中島大之

トランペット  
坂井俊博  
高橋 敦

トロンボーン  
西岡 基

テューバ  
渡辺 功

パーカッション  
石崎陽子  
松倉利之  
和田光世

ピアノ  
藤原亜美

ハープ  
木村茉莉

ヴァイオリン  
梅原真希子  
海和伸子  
山本千鶴  
吉成とも子

ヴィオラ  
百武由紀  
守山 ひかる  
吉田 篤

チェロ  
宇田川元子  
高麗正史  
花崎 薫

コントラバス  
那須野直裕  
長谷川信久  
吉田 秀

エレクトロニクス  
有馬純寿

事務局  
多田逸左久

東京シンフォニエッタ創設メンバーであり、TSの長い歴史の中での一つの「顔」でもある坂井俊博をソリストとし、ジョリベの二つのコンチェルトを軸に、もう一人の東京シンフォニエッタのメンバーである高橋敦の武満作品を通して現代におけるトランペットを堪能する。

同時に客観的視座として、メシアンの「トランペット」という語が題名に用いられている「七つのトランペットのための狂乱の踊り」を併置することにより、トランペットの持つ、宗教性、呪術性が現代でどう聞こえてくるかをも問い合わせている、トランペットはその起源は古く、さまざまな宗教画にも現れてくるような楽器であり、改良がなされたと言っても木管楽器、または鍵盤楽器のように革新的発明が工業技術の発展と同時になされたというものでは無く、唇の振動を増幅して音を生成し音楽を作り上げていくという人声に限りなく近い楽器である、元来、バロック時代の管弦楽ではある部分の強調、または他の楽器の模倣として自然倍音を用いた音型を演奏するといった用法が古典派までは長らくなされてきたが、ロマン派以降はその特徴を生かして、管弦楽の中ではさまざまな用法がなされ、その個性に目が向けられてきた、その延長として近現代の管弦楽においては重要な位置を占めている、そのような特徴を持つトランペットに対して、ジョリベが二曲の協奏曲を残し、トランペットの現代音楽における認識をはっきりさせてくれた、その流れを敷衍して、後年、重要な独奏曲が生まれてきている、TSのもう一人のメンバーである高橋敦が邦人作曲家によるトランペット独奏のための「径」を演奏し、メシアンと併せ、トランペットを立体的に捉え、この楽器の将来への可能性を共に考える演奏会としたい。

音楽監督 板倉康明



## 坂井俊博 トランペット

Toshihiro Sakai, Trumpet

1954年福井市に生まれる。幼少から父、坂井喜之栄よりピアノ、トランペット、指揮、作曲、の手ほどきを受ける。14歳から金石幸夫氏、17歳から中山富士雄氏にトランペットを師事。1974年東京藝術大学入学、同年、第43回日本音楽コンクール管楽器部門、第1位入賞。東京フィルハーモニー交響楽団の演奏旅行にソリストとして同行するなど、在学中から演奏活動を始める。1978年ブラハの春国際コンクールで第5席入選、1979年ミュンヘン国立音楽大学入学、P.ラッヘンマイヤー氏に師事。1980年カッセル国立歌劇場管弦楽団に入団、1981年ツーロンとジュネーブの国際コンクールで入選。ボルドー音楽祭で銅メダル受賞。1985年オーケストラを退団し、帰国。以来、フリーで演奏活動を続いている。1992年国際交流基金よりパラグアイに派遣され、指導と演奏会を行った。1993年東京シンフォニエッタ創設に参加、現代音楽の紹介に努める。1997年指揮活動を開始、メキシコ3都市を訪ね、指揮者、ソリストとして演奏会を行う。1998年から東京室内管弦楽団の指揮者として2004年まで数多くの演奏会を行う。近年はTVドラマ「逃亡者」劇場映画『ブラックジャック』、「20世紀少年」などのサウンドトラックレコーディングの指揮を行った。2008年にはパリ、2009年には、エジプト、オランダで東京シンフォニエッタのツアーにトランペット奏者として参加した。2010年アジアトランペット連盟創設にあたり、会長に就任する。



## 高橋敦 トランペット

Osamu Takahashi, Trumpet

富山県生まれ。洗足学園魚津短期大学、洗足学園大学を卒業。トランペットを津堅直弘、関山幸弘、佛坂咲千生の各氏に師事。第65回日本音楽コンクール・トランペット部門第1位。第13回日本管打楽器コンクール・トランペット部門第1位。新星日本交響楽団(現、東京フィルハーモニー交響楽団)を経て1999年、東京都交響楽団首席奏者に就任。宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、セイジ・オザワ 松本フェスティバル(サイトウ・キネン・フェスティバル松本)、防府音楽祭などへ定期的に参加。2016年に開催されたGolden Brass Japan Festival at Port of Moji音楽監督。世界で最も権威と伝統があるミュンヘンARD国際音楽コンクールの審査員も務める。東京メトロポリタン・プラス・クインテット、なぎさプラス・グリステン、The Schilke Five、Trumpet Ensemble "THE MOST"、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア、晴れた海のオーケストラなどのメンバー。洗足学園音楽大学客員教授、東京音楽大学講師。



2021年7月9日 [金] 19:00開演(18:30開場)

東京文化会館 小ホール

全席自由(税込) 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

◎チケット予約

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

イープラス………<https://eplus.jp>(PC & 携帯)

チケットぴあ………<https://t.pia.jp>(PC & 携帯) 0570-02-9999(音声自動応答)

Pコード[196-302]

ローソンチケット…<https://l-tike.com/>(PC & 携帯) Lコード[31986]

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。  
① やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。  
② いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。  
③ 演奏中は入場できません。  
④ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。  
⑤ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。  
⑥ ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。  
⑦ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

新型コロナウイルス感染防止へのご協力のお願い(最新のより詳しい情報は、弊社ホームページにてご確認いただけます)

マスク常時着用、咳エチケットの実践、入場時の手指消毒、検温へのご協力をお願いします。検温で37.5℃以上が検知された場合は入場をご遠慮いただきます。出演者へのプレゼント、面会はお控えください。感染防止策実施のため、時間に余裕を持ってご来場ください。公演当日、以下に該当されるお客様はご来場をお控えください。\*37.5℃以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状がある。\*新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある。\*過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴、及び当該在住との濃厚接触がある。